

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	竹原市立竹原西小学校		
学校長氏名	藤野 恵子	栄養教諭氏名	藤原 弥生
職員数	36名	児童・生徒数	254名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- 食事マナーの定着に向けて学校全体で取り組んでいく。
- 学校・家庭・地域が連携して、食への実践力と感謝の心を育む取組を継続して行う。
- 朝食の喫食率の向上や内容の充実に取り組んでいく。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

	成果指標	目標値
食事のマナー定着に向けた取組	食育に関する児童・保護者アンケート	85%以上
食育の推進	食育に関する児童・保護者アンケート	肯定的評価 85%以上

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ）食事マナー定着に向けた取組

- 各学期に食事マナー週間を実施し、マナーの定着に取り組んだ。
- 委員会による啓発活動を行った。
- 3学期のマナー週間では、食器を持って食べる児童 91.3%，時間内に食べる児童 87.7%となり、目標値を達成することができた。

【取組2】（テーマ）学校・家庭・地域が連携した食への実践力と感謝の心を育む取組

- 「たけにし弁当 DAY」の取組（家庭との連携）
 - ・11月11日（土）の登校日に全校で行った。今年度で4年目になり、テーマ別に選択できるように改善して行うことで取り組みやすくなった。実施後のアンケートでは83%の児童が、お弁当作りをまたしたいと答えていた。
- 夏休み・冬休み「食のチャレンジ」の取組（家庭との連携）
 - ・食のチャレンジでは、食事のマナー、食事の準備、ご飯を炊くこと、おかずをつくることなど児童の食に関する実践力を培うために継続して行っている。多くの児童が積極的に取り組み、保護者からも「助かった。」「うれしかった。」「成長を感じた。」など好意的な感想が寄せられている。家庭での手伝いは人の役に立ち、喜んでもらえる体験活動であり、児童の自己肯定感を高めることにもつながっている。
- 総合的な学習の時間での取組（地域との連携）
 - ・3年生は地域の特産物である「ぶどう」について生産者から学び、ぶどうジャムをつくる。
 - ・5年生は竹原市の伝統料理である「魚飯」について学習。地域の方を講師に「魚飯」を通して竹原の歴史について学ぶ。「魚飯」の調理実習では、竹原市管理栄養士・食生活改善推進員と連携し行った。
- 地域団体との連携（国際ソロプチミスト竹原）
 - ・子ども料理教室への協力をいただいている。
 - ・6年生家庭科「共に生きる生活」の単元での感謝の会（調理実習）への協力をいただいている。

【取組3】(テーマ) 早寝 早起き 朝ごはんについての取組

- 学校全体で「25のやくそく」を毎週実施し、基本的な生活習慣の啓発を1年間通して行った。
- 1年生の授業参観で、担任・養護教諭・栄養教諭が連携し「早寝 早起き 朝ごはん」の内容で行い、保護者に啓発した。
- 早寝 早起き 朝ごはんキャンペーンを保育所と連携して行うことで、家庭での取組がすすむよう工夫した。
- 企業連携と連携して「朝食の大切さ」について6年生に授業を行った。
- 委員会活動で、「朝ごはんの大切さについて」朝会発表を行った。
- 6年生は、夏休みに「バランスのよい朝食づくり」に取り組んだ。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- 給食試食会で、ひろしま給食についての概要を説明し、家庭で作ることを呼びかけた。
- 給食だよりや食育通信で、ひろしま給食について家庭へ情報発信した。
- 夏休みに取組めるよう「食のチャレンジ」の裏面に食数が記入できるよう工夫した。
- スーパーマーケットに給食だよりやレシピを置かせていただき、市民への周知を図った。
- 夏休み子ども料理教室で「熱く燃えろ!!Cスープ」「広島名物たっぷり塩レモン焼きそば」「ひろしまいい子いりこ」を調理した。
- 学校のクラブ活動で、「熱く燃えろ!!Cスープ」を調理した。

5 取組に対する成果と課題

学校評価 「食育に関する児童・保護者アンケート」より(本校)

	目標値	達成値
食事のマナー定着に向けた取組	肯定的評価 85%以上	94.8%
食育の推進	肯定的評価 85%以上	96.7%

広島県「食に関する実態調査」より

	設 問	H28.5年 (a)	H29.6年 (b)	差 (b-a)
児童	主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている	56.3	61.2	+4.9
	家で、家族の人といっしょか、または、一人で料理をつくらることがある	75.5	79.6	+4.1
	自分で作れる料理がある	96.0	100	+4.0

【成果】

- 本校での食育の推進の肯定的評価(保護者)は、達成値が96.7%となり、目標値を達成した。また、広島県「食に関する実態調査」より本校6年生が、5年時に行ったアンケートに比べると数値が上がった。学校で学習したことを家庭と連携して実践的に行うことで食事作り等の力を培うことができた。

【課題】

- 主食・主菜・副菜がそろったバランスのよい朝食の割合が低いことが課題である。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- 朝食は内容に課題があるので、取組内容を工夫して継続して取り組んでいく。
- 学校・家庭・地域が連携した食への実践力と感謝の心を育む取組を継続して取り組んでいく。